

「緊急時の対応とサポート」では、災害が発生した時のトイレの流し方、停電時や断水時の対応、凍結予防の情報等を分かりやすく掲載しています。



<https://jp.toto.com/support/emergency/>

TOTO 緊急時の対応とサポート

検索



「TOTO 停電」や「TOTO 凍結」などでも検索できます。

停電
断水/給水制限
寒波/凍結

以下、掲載事例をご紹介します。

停電 | **断水**

■ 「緊急時のトイレの水の流し方」動画



■ 「断水から初めて水を流す時」の注意チラシ

TOTO

断水から初めて水を流す時にご注意ください

断水から初めて水を流す時にご注意してください。

1. 元栓の開栓・屋内配管の確認

① 元栓開栓前に、台所や浴室などすべての水栓（蛇口）を「閉」にしてください。

元栓: 戸建住宅の場合 / 集合住宅の場合 / 止水栓: 浴室水栓の止水栓 / トイレの水栓: トイレの水栓

2. 水栓（蛇口）の使用開始 その前に

水道管に入りこんだ空気と、異物を除去してください。

単水栓の例 / 2ハンドル水栓の例

3. 使用開始後、水栓（蛇口）、トイレに不具合がある場合

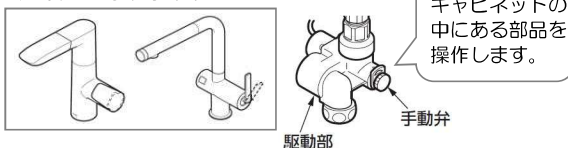
・水の勢いが弱い、水が出ない場合は、各製品のストレープ（フィルター）の清掃をお願いします。
・水が止まらない場合は同梱のメンテナンスシートを参照してください。
・上記でも不具合が解消しない場合、清掃方法が分からない場合はご依頼ください。



停電

■ 自動水栓の停電時の対応

停電時も手動弁を開くことで、水の出し止めができるタイプがあります。



■ 三乾王（浴室換気暖房乾燥機）の停電復旧後の対応（時間表示があるものの復旧方法）

停電復旧後は「時刻」の再設定が必要です



停電復旧後、時計が「-:-」表示となり、点滅します。AM PM

寒波

■ 寒波の備え/凍結の予防

外気温が0℃以下になる場合、凍結予防が必要です。別荘など長期不在・長期使用がない場合も、万一の凍結に備えて、水抜きなどをお願いします。

トイレ

トイレで凍結のおそれがある箇所

器具内、給水管、排水管などの水が凍結して、膨張することにより、それらを破損するおそれがあります。

器具	凍結のおそれがある箇所
大便器・タンク	水の経路（給水管・タンク内部品） 溜まり水
ウォシュレット	水の経路（給水管・本体内部部品）

もしもの時に備えて事前にご確認のうえ、ご活用のほどお願いします。

こんなときは

停電で水が流せないとき(断水していないとき)

■給水リング(オレンジ)と水ためリング(白)で便器の水を流すことができます。



給水リング(オレンジ)

水ためリング(白)

動画を見る
 停電で水が流せないとき
<https://youtube.com/playlist?list=PL8JUONSGBXLAUfotp-DWDhqNRiv74mb5U>
 ※通信料がかかります。
 ※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

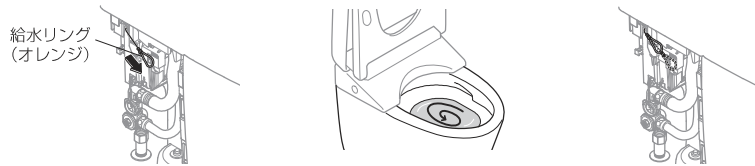


1 すっきりパネル(左)を取りはずす

2 便座・便ふたを開ける

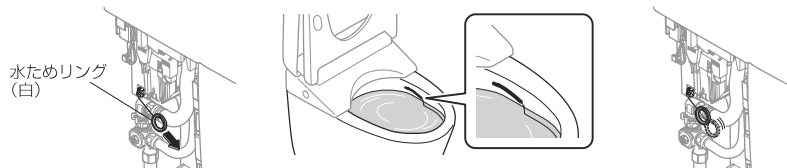
3 給水リング(オレンジ)を操作して、便器に水を流す

①給水リング(オレンジ)を **止まる位置まで引く** ⇒ **水が流れ始める** ⇒ ②給水リング(オレンジ)を **はなす**



4 水ためリング(白)を操作して、便器の水たまり面を上昇させ、便器の水を流す

①水ためリング(白)を **止まる位置で引き続ける(便器の水たまり面が上昇します。)** ⇒ **吐水口上面まで水をためる** ⇒ ②水ためリング(白)を **はなす(便器の水が流れ、水たまり面が下降します。)**



ご注意

・水ためリング(白)を引き続けると、便器の水があふれることがあります。

お願い

・水ためリング(白)をはなしても便器の水が流れない場合は、便器が詰まっている可能性があります。給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引き、はなした後、便器の詰まりを取り除いてください。(P.40)(水があふれる可能性があるため)

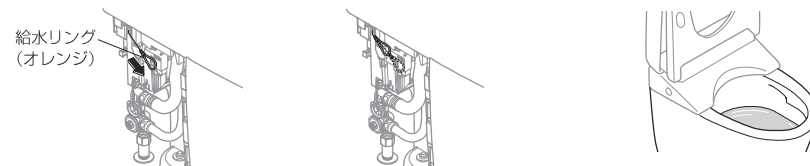
必ず実施

5 便器の水が元の高さまで戻ったら、給水リング(オレンジ)を操作して、便器に流す水を止める。

お願い

・汚物がきれいに流れなかった場合は、もう一度手順③からやり直してください。

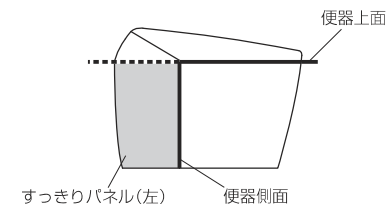
①給水リング(オレンジ)を **止まる位置まで引く** ⇒ ②給水リング(オレンジ)を **はなす** ⇒ ③ **便器の水が止まったことを確認**



給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引くことで、便器に水を「流す」と「止める」を切り替えています。必ず給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引き、便器に流す水を止めてください。

6 すっきりパネル(左)を取り付ける

・すっきりパネル(左)は、便器上面と便器側面にあわせて、すき間が目立たないように取り付ける。



お願い

・停電が復帰したら、必ず大洗浄してください。(排水管に汚物が停滞する可能性があるため)
 ・バケツで便器の水を流すこともできます。(P.48)

こんなときは

断水で水が流せないとき

- 1 バケツで水を流す
(6~8 L程度)
- 2 流したあと、水位が低くなったら
水をつぎ足す
(水位が上がらなくなるまで)
・においを防ぐため



- お願い**
- ・作業前に、「オート便器洗浄」を「切」にしてください。(P.27)
 - ・断水が復帰したら、使用前に必ずお風呂やキッチンなど(本製品以外)で水を出して、給水管内の空気を抜いてください。(本製品に空気や異物が入り込むことによる故障の原因)
 - ・その後、必ず大洗浄してください。
 - ・(排水管に汚物が停滞する可能性があるため)

動画を見る

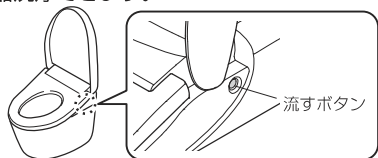
断水時のトイレの使用

https://jp.toto.com/support/emergency/dansui/et_nagashikata_mov/

※通信料がかかります。
※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

リモコンで操作できないとき

- ウォシュレット右側面のボタンでも、便器洗浄できます。

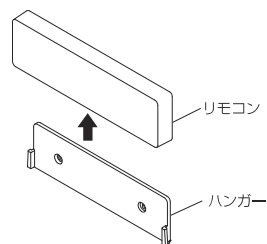


- リモコンの電池切れ予告マーク「」が点滅しているときは、乾電池を交換してください。



■乾電池の交換のしかた

- 1 電源プラグを抜く
- 2 リモコンをハンガーから取りはずす
- 3 電池カバーを開け、単4乾電池(2本)を交換する
(P.12)
・電池切れ予告マークが消灯する
- 4 リモコンをハンガーに取り付ける
(P.12)
- 5 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する

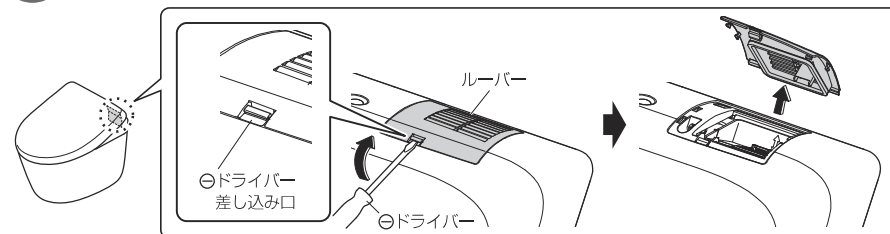


- お願い**
- ・乾電池を交換すると、節電機能など「入」「切」の設定が解除される場合があります。もう一度設定してください。

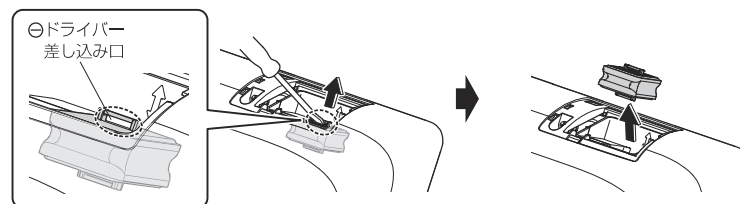
脱臭が弱くなったとき

脱臭フィルターを掃除してください。(P.43)
それでもにおいが気になるときは、脱臭カートリッジを交換してください。(購入はP.64)

- 1 電源プラグを抜く
- 2 ウォシュレット本体(右側)のルーバーを取りはずす

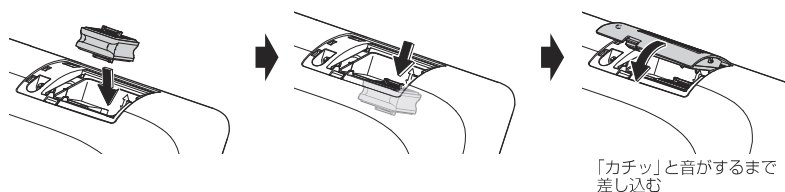


- 3 脱臭カートリッジを取りはずす



- ご注意**
- ・脱臭カートリッジの黒粉が手に付いたときは、すぐに手を洗ってください。(炎症を起こすおそれ)

- 4 新しい脱臭カートリッジとルーバーを取り付ける
・確実に奥まで押し込む



- 5 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する

必要なとき

こんなときは 凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.27)「オートふた開閉」(NJ1以外)(P.30)を「切」にしてください。

流動方式

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた (P.34)

- ・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8 L)する
- ・約50 mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

お願い

- ・凍結のおそれがあるときは、凍結予防を行ってください。(左記)(製品が破損するおそれ)

ご注意

- ・「お掃除リフト」(P.41)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

1 止水栓または元栓を閉める (P.4)

⚠ 注意

止水栓や元栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない
(水が噴き出す原因)

2 を押してタンクの水を抜く※1

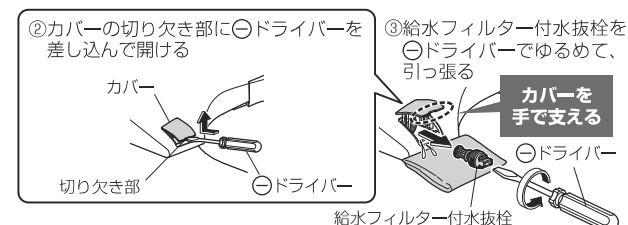
3 ノズルを出す
リモコン裏面 ⇒ リモコンの取りはずしかた (P.12)

を押し、ノズルを伸出させたあと、もう一度 を押し、ノズルを戻す

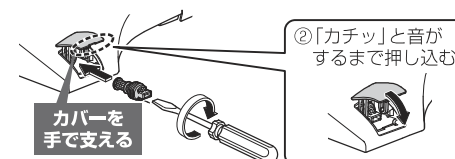
- ・給水管の圧抜き

4 電源プラグを抜く

5 配管の水を抜く
①便座・便ふたを開ける



6 給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける
①給水フィルター付水抜栓を押し込み、ドライバーで確実に締める



■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(P.52)

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。(NJ1以外)

こんなときは 長期間使わないとき

再通水のしかた

- 1** 止水栓または元栓を開ける (P.13)
 - ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
- 2** 電源プラグを抜いているときは電源プラグをコンセントに差し込む
 - ・「運転」ランプが点灯する
- 3** ①ノズルから水を出す
 - (1) 便座の左側を押したまま、
 - (2) リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
 - ・水は紙コップなどで受けてください。
 - (3) 手を便座からはなす
- ② を押す*1
 - ・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。(タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。) 給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。)
 - 残水が凍結して水が出ないとき
 - ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める
- 4** 便器に水がたまってから、もう一度 を押す*1



*1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。(NJ1以外)

故障かな?と思ったら

まず、P.53~60の処置方法をお試しください。それでも直らないときは、お求めの取付店・販売店またはTOTO メンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

次の場合は電源プラグを抜いて、TOTO メンテナンス(株)修理受付センターへ連絡してください。

- 運転、便座、節電ランプが点滅している

水漏れしているとき

止水栓を閉め電源プラグを抜いて、TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ連絡してください。

注意

❗ 水漏れが起きたら、止水栓を閉める

ウォシュレット本体が動かないとき

- 運転ランプが点灯しているとき**
- 便座に深く腰掛けていますか?
 - 便座に深く腰掛けると、着座スイッチが入ります。(P.8)
 - 便座・便ふたカバーを使っていますか?
 - カバーを取りはずす
- 運転ランプが「消灯」しているとき**
-
- 電源プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか?
 - 「入」ボタンを押す(ランプ消灯)
 - 配電盤のブレーカーが入っていますか?
 - 停電したり、ブレーカーが「切」になっていないか確認する
- 運転ランプが「点滅」しているとき**
- 「凍結防止」設定が「入」になっています。(P.34、50)

リモコンで動きますか?

- リモコンの「」が点滅していませんか?
 - 乾電池を交換する(P.12、48)
- リモコン信号送信部やリモコン信号受信部がふさがれていませんか?
 - 障害物やゴミ・水滴などを取り除く(P.11、16)

必要なとき

こんなときは

停電で水が流せないとき(断水していないとき)

■給水リング(オレンジ)と水ためリング(白)で便器の水を流すことができます。



給水リング(オレンジ)
水ためリング(白)

動画を見る
停電で水が流せないとき
<https://youtube.com/playlist?list=PL8JONSGBXLAUfotp-0WDhqNRiv74mb5U>
※通信料がかかります。
※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

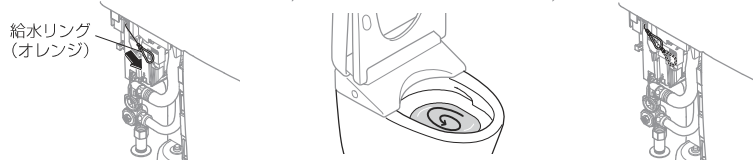


1 すっきりパネル(左)を取りはずす

2 便座・便ふたを開ける

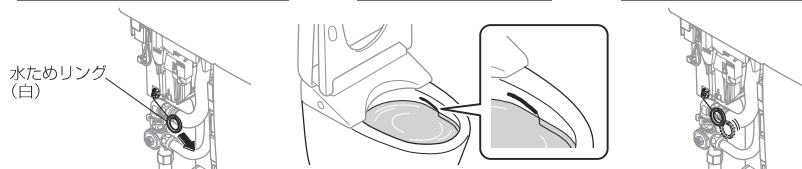
3 給水リング(オレンジ)を操作して、便器に水を流す

①給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引く ⇒ 水が流れ始める ⇒ ②給水リング(オレンジ)をはなす



4 水ためリング(白)を操作して、便器の水たまり面を上昇させ、便器の水を流す

①水ためリング(白)を止まる位置で引き続ける(便器の水たまり面が上昇します。) ⇒ 吐水口上面まで水をためる ⇒ ②水ためリング(白)をはなす(便器の水が流れ、水たまり面が下降します。)



ご注意

• 水ためリング(白)を引き続けると、便器の水があふれることがあります。

お願い

• 水ためリング(白)をはなしても便器の水が流れない場合は、便器が詰まっている可能性があります。給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引き、はなした後、便器の詰まりを取り除いてください。(P.47)(水があふれる可能性があるため)

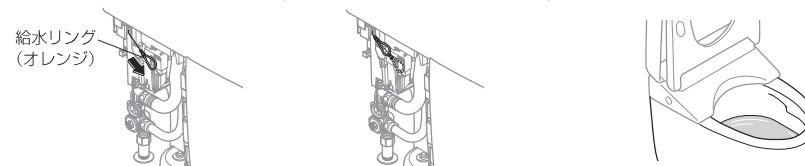
必ず実施

5 便器の水が元の高さまで戻ったら、給水リング(オレンジ)を操作して、便器に流す水を止める

お願い

• 汚物がきれいに流れなかった場合は、もう一度手順③からやり直してください。

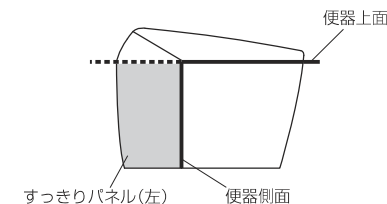
①給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引く ⇒ ②給水リング(オレンジ)をはなす ⇒ ③便器の水が止まったことを確認



給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引くことで、便器に水を「流す」と「止める」を切り替えています。必ず給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引き、便器に流す水を止めてください。

6 すっきりパネル(左)を取り付ける

• すっきりパネル(左)は、便器上面と便器側面にあわせて、すき間が目立たないように取り付ける。



お願い

• 停電が復帰したら、必ず大洗浄してください。(排水管に汚物が停滞する可能性があるため)
• バケツで便器の水を流すこともできます。(P.56)

こんなときは

断水で水が流せないとき

- 1 バケツで水を流す
(6~8L程度)
- 2 流したあと、水位が低くなったら
水をつぎ足す
(水位が上がらなくなるまで)
・においを防ぐため



お願い

- ・作業前に、「オート便器洗浄」を「切」にしてください。(P.31)
- ・断水が復帰したら、使用前に必ずお風呂やキッチンなど(本製品以外)で水を出して、給水管内の空気を抜いてください。(本製品に空気や異物が入り込むことによる故障の原因)
- ・その後、必ず大洗浄してください。(排水管に汚物が停滞する可能性があるため)

動画を見る

断水時のトイレの使用

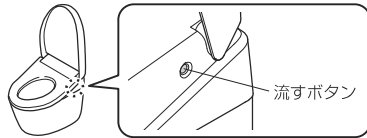
https://jp.toto.com/support/emergency/dansui/et_nagashikata_mov/


- ※通信料がかかります。
- ※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

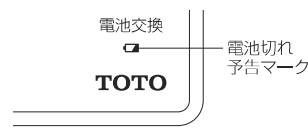


リモコンで操作できないとき

■ウォシュレット右側面のボタンでも、便器洗浄できます。

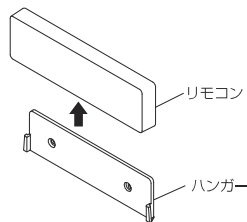


■リモコンの電池切れ予告マーク「」が点滅しているときは、乾電池を交換してください。



■乾電池の交換のしかた

- 1 電源プラグを抜く
- 2 リモコンをハンガーから取りはずす
- 3 電池カバーを開け、単4乾電池(2本)を交換する
(P.12)
・電池切れ予告マークが消灯する
- 4 リモコンをハンガーに取り付ける
(P.12)
- 5 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する



お願い

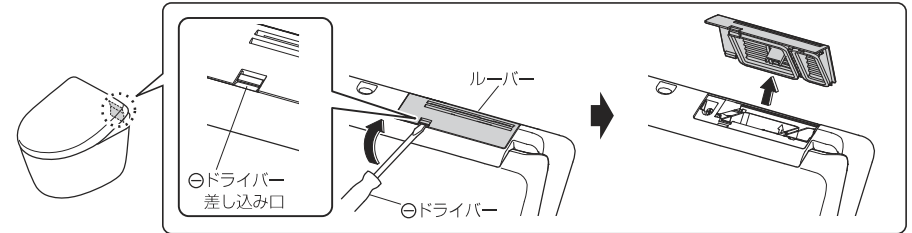
- ・乾電池を交換すると、節電機能など「入」「切」の設定が解除される場合があります。もう一度設定してください。

脱臭が弱くなったとき

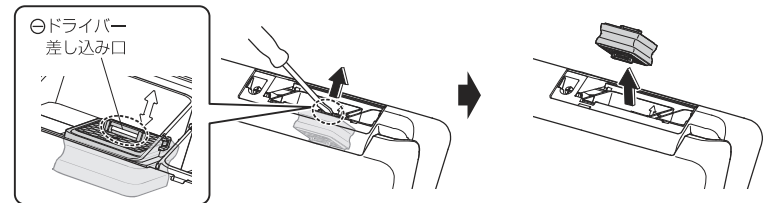
脱臭フィルターを掃除してください。(P.50)

それでもにおいが気になるときは、脱臭カートリッジを交換してください。(購入はP.73)

- 1 電源プラグを抜く
- 2 ウォシュレット本体(右側)のルーバーを取りはずす



- 3 脱臭カートリッジを取りはずす

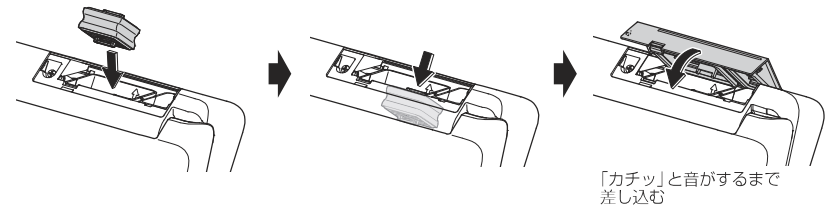


ご注意

- ・脱臭カートリッジの黒粉が手に付いたときは、すぐに手を洗ってください。(炎症を起こすおそれ)

- 4 新しい脱臭カートリッジとルーバーを取り付ける

- ・確実に奥まで押し込む



- 5 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する

こんなときは 凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。
 ・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.31)「オートふた開閉」(P.33)を「切」にしてください。

流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた(P.41)

- ・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。
 ・「運転」ランプが点滅する
 ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
 ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



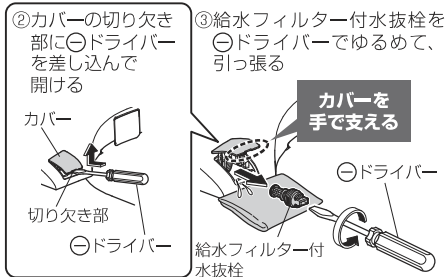
2 ノズルを押し 押す

- ・給水管の圧抜き

3 電源プラグを抜く

4 配管の水を抜く

①便座・便ふたを開ける



5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

①給水フィルター付水抜栓を押し込み、
②ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

7 すっきりパネル(右)を取りはずす

8 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照

9 便座温度を「高」にする(P.20)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
 ・再通水が必要です。(P.59)

お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。
 (タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

お願い ・凍結のおそれがあるときは、凍結予防を行ってください。(左記)(製品が破損するおそれ)

ご注意 ・「お掃除リフト」(P.48)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1 流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき
 止水栓または元栓を閉める(P.4)
 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
 水抜栓を操作して、給水を止める(P.58手順①)

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。

- 2 満す大 を押してタンクの水を抜く※1

- 3 ノズルを押し 押す

(給水管の圧抜き)

- 4 電源プラグを抜く

- 5 配管の水を抜く(P.58手順④⑤)

■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

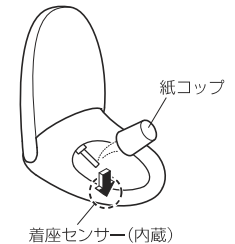
■再度ウォシュレットをお使いになるときは
 ・再通水が必要です。(下記)

再通水のしかた

- 1 止水栓または元栓を開ける(P.13)または、水抜栓を操作して、給水する
 ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

- 2 電源プラグを抜いているときは
 電源プラグをコンセントに差し込む
 ・「運転」ランプが点灯する

- 3 ①ノズルから水を出す
 (1)手または腕で着座センサー部(詳細はP.8を参照)に触れたまま、
 (2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
 ・水は紙コップなどで受けてください。
 (3)手または腕を着座センサー部からははずす



- 2 満す大 を押し※1

- ・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。(タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。)給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。)

■残水が凍結して水が出ないとき

- ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める

- 4 便器に水がたまってから、もう一度 満す大 を押し※1

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが開まったあと便器洗浄します。

必要なとき

故障かな?と思ったら

まず、P.60～68の処置方法をお試しください。
それでも直らないときは、お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

次の場合は電源プラグを抜いて、TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ連絡してください。

- 運転、便座、節電ランプが点滅している
- 便座ランプが点滅している

●電子音が止まらない

水漏れしているとき

止水栓を閉め電源プラグを抜いて、TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ連絡してください。

⚠注意

❗ 水漏れが起きたら、止水栓を閉める
<床給水・壁給水の場合>

(壁排水リモデルの場合→P.4)

ウォシュレット本体が動かないとき

運転ランプが点灯していますか?

- 運転ランプが「点灯」しているとき**
- 着座センサー部に肌が触れるように座っていますか?
→着座センサー部に肌が触れると、着座センサーが検知します。(P.8)
 - 便座・便ふたカバーを使っていますか?
→カバーを取りはずす

運転ランプが「消灯」しているとき

- 運転ランプが「消灯」しているとき**
- 電源プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか?
→「入」ボタンを押す(ランプ消灯)
 - 「運転入/切」の設定が「切」になっていませんか?
→リモコンで「入」に設定してください。(P.13 手順2.3)
 - 配電盤のブレーカーが入っていますか?
→停電したり、ブレーカーが「切」になっていないか確認する
-

リモコンで動きますか?

- 運転ランプが「点滅」しているとき**
- 「凍結防止」設定が「入」になっています。(P.41、58)
 - リモコンの「」が点滅していませんか?
→乾電池を交換する(P.12、56)
 - リモコン信号送信部やリモコン信号受信部がふさがれていませんか?
→障害物やゴミ・水滴などを取り除く(P.11、18)
-

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
ノズル(洗浄水)が出ない	●冬場など気温が低いときは、お湯を出す準備のためリモコンのボタンを押してからノズルが出てくるまで時間がかかる場合があります。	—
	●約2時間以上連続して座っていませんか?(安全のため、操作できなくなります。)→一度便座を立ち、再度お使いください。	—
	●他で水を使用していたり、断水などにより給水圧が大きく減少すると安全のため機能が停止することがあります。 →電源プラグを抜き、約10秒後に再度差し込んでください。 →同じ現象を繰り返すとき→故障の可能性があります。 TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ連絡してください。	69
	●便座に座るとき、着座センサー部に便座カバーや洋服などがかかっていますか。または、着座センサー部に触れずに座っていませんか。 →着座センサーの位置を確認して、肌が直接触れるように座ってください。	8
	●便座・便ふたカバー、幼児用便座などを使っていますか? →カバーは、はずしてください。 幼児用便座や、やわらかく補高便座は、使うたびにはずしてください。	9
	●「ノズルきれい」ボタンを押していませんか? ・「ノズルきれい」ボタンを押したときは、ノズル付近からきれい除菌水が出て、ノズルを洗浄します。 →ノズルを出してお手入れしたいときは「ノズルそうじ」をしてください。	50
	●断水していませんか? →「止」ボタンを押し、断水が終わるのを待ってください。	—
	●止水栓が閉まっていますか? →止水栓を全開にしてください。	13
	●給水フィルター付水抜栓にゴミが詰まっていますか? →フィルターを掃除してください。	51
	●水勢の設定が弱くなっていますか?	16
ノズルは出るが洗浄水が出ない/洗浄水の勢が弱い	●温水温度の設定が「切」または低くなっていますか? ●給水温度やトイレ室温が低い場合、吐水ははじめの温水温度が低いことがあります。	20,21
	●おしり・おしりソフト・ビデ・ワイドビデ洗浄は約5分間連続使用すると自動で止まります。 ●着座センサーが検知しにくくなっていますか? →途中で腰を浮かせたり、便座の左よりに座ると、着座センサーが検知しにくくなり途中で止まる場合があります。	— 8
洗浄水が冷たい	●温水温度の設定が「切」または低くなっていますか? ●給水温度やトイレ室温が低い場合、吐水ははじめの温水温度が低いことがあります。	20,21
途中で止まる	●おしり・おしりソフト・ビデ・ワイドビデ洗浄は約5分間連続使用すると自動で止まります。 ●着座センサーが検知しにくくなっていますか? →途中で腰を浮かせたり、便座の左よりに座ると、着座センサーが検知しにくくなり途中で止まる場合があります。	— 8
ノズルから勝手に水が出る	●ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプ(緑色)が点滅していませんか? ・「凍結防止(流動方式)」設定が「入」になっています。 (ノズル付近から約5分間隔、便器から約10分間隔で水を流します。) ●便座に座ると、お湯を出す準備のために数秒間水が出ます。 ●きれいサインがサイクル点灯していませんか? ・「ノズルきれい」がはたらき、ノズルを洗浄しています。	41,58
ノズル付近から勝手に水が出る*1	●「においきれい」が「入」のときは、内部の部品を洗浄するため水が出る場合があります。	—
温風乾燥の温度が低い	●乾燥温度の設定が低くなっていますか?	20
途中で止まる	●約10分間連続使用すると自動で止まります。 ●着座センサーが検知しにくくなっていますか? →途中で腰を浮かせたり、便座の左よりに座ると、着座センサーが検知しにくくなり途中で止まる場合があります。	— 8

おしり・ビデ洗浄・ノズル

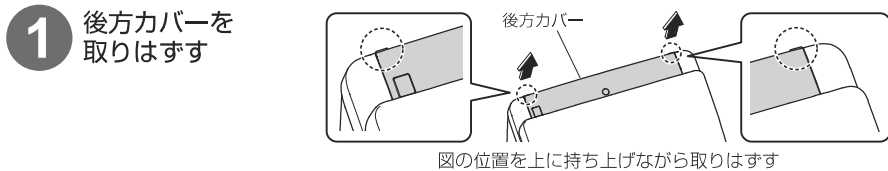
温風乾燥

必要なとき

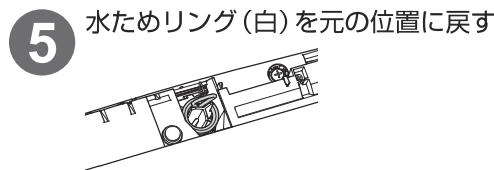
こんなときは

停電で水が流せないとき(断水していないとき)

■給水リング(オレンジ)と水ためリング(白)で便器の水を流すことができます。



- ご注意**
- 水ためリング(白)を引き続けると、便器の水があふれることがあります。
- お願い**
- 水ためリング(白)をはなしても便器の水が流れない場合は、便器が詰まっている可能性があります。給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引き、はなした後、便器の詰まりを取り除いてください。(P.44)(水があふれる可能性があるため)



必ず実施

6 便器の水が元の高さまで戻ったら、給水リング(オレンジ)を操作して、便器に流す水を止める

お願い

- 汚物がきれいに流れなかった場合は、もう一度手順③からやり直してください。

①給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引く

②給水リング(オレンジ)をはなす

③便器の水が止まったことを確認

給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引くことで、便器に水を「流す」と「止める」を切り替えています。必ず給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引き、便器に流す水を止めてください。



必要なとき

こんなときは

断水で水が流せないとき

1 バケツで水を流す
(6~8 L程度)



2 流したあと、水位が低くなったら水をつぎ足す
(水位が上がらなくなるまで)

・においを防ぐため

お願い

- ・作業前に、「オート便器洗浄」を「切」にしてください。(P.29)
- ・断水が復帰したら、使用前に必ずお風呂やキッチンなど(本製品以外)で水を出して、給水管内の空気を抜いてください。(本製品に空気や異物が入り込むことによる故障の原因)
- ・その後、必ず大洗浄してください。(排水管に汚物が停滞する可能性があるため)

動画を見る

断水時のトイレの使用

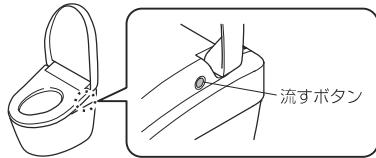
https://jp.toto.com/support/emergency/dansui/et_nagashikata_mov/

※通信料がかかります。
※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。



リモコンで操作できないとき

■ウォシュレット右側面のボタンでも、便器洗浄できます。



■リモコンの電池切れ予告マーク「」が点滅しているときは、乾電池を交換してください。



■乾電池の交換のしかた

1 電源プラグを抜く

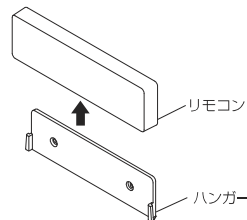
2 リモコンをハンガーから取りはずす

3 電池カバーを開け、単4乾電池(2本)を交換する
(P.12)

・電池切れ予告マークが消灯する

4 リモコンをハンガーに取り付ける
(P.12)

5 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する



お願い

- ・乾電池を交換すると、節電機能など「入」「切」の設定が解除される場合があります。もう一度設定してください。

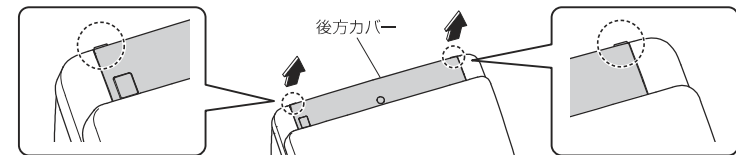
脱臭が弱くなったとき

脱臭フィルターを掃除してください。(P.47)

それでもにおいが気になるときは、脱臭カートリッジを交換してください。(購入はP.70)

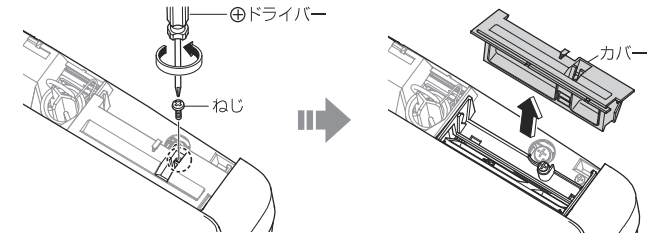
1 電源プラグを抜く

2 後方カバーを取りはずす



図の位置を上を持ち上げながら取りはずす

3 カバーを取りはずす

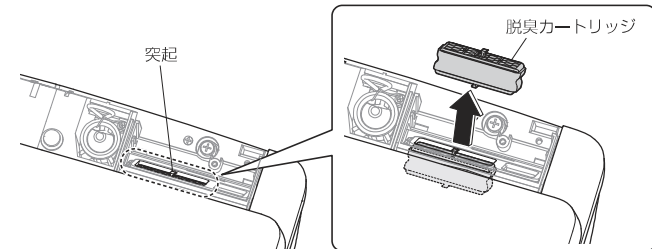


ご注意

- ・ねじを落とさないよう気を付けてください。

4 脱臭カートリッジを取りはずす

・突起をつまんで引き出す



ご注意

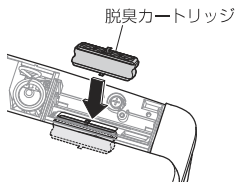
- ・脱臭カートリッジの黒粉が手に付いたときは、すぐに手を洗ってください。(炎症を起こすおそれ)

こんなときは

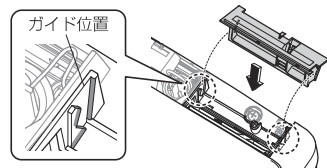
脱臭が弱くなったとき(つづき)

5 新しい脱臭カートリッジを取り付ける

- ・確実に奥まで押し込む

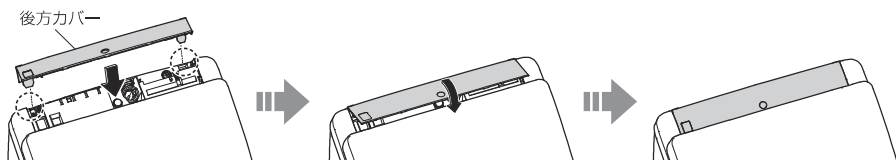


6 カバーを取り付ける



- ・ガイド位置に合わせて取り付ける

7 後方カバーを取り付ける



8 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

- ・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.29)「オートふた開閉」(P.31)を「切」にしてください。

流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた(P.38)

- ・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)

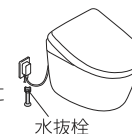


ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



2 ノズルを押し出す

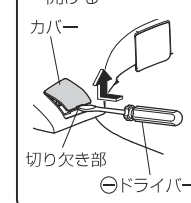
- ・給水管の圧抜き

3 電源プラグを抜く

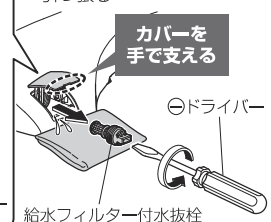
4 配管の水を抜く

- ①便座・便ふたを開ける

②カバーの切り欠き部に⊖ドライバーを差し込んで開ける

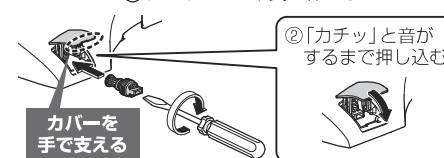


③給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめて、引っ張る



5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

- ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

7 ⑤を押してタンクの水を抜く※1

8 便座温度を「高」にする(P.20)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを開けておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.56)

お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

必要なとき



※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが開まったあと便器洗浄します。

こんなときは 長期間使わないとき


別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。
(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

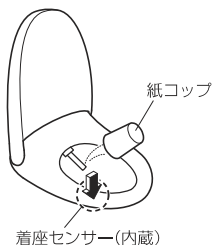
- お願い** ・凍結のおそれがあるときは、凍結予防を行ってください。(P.55)(製品が破損するおそれ)
ご注意 ・「お掃除リフト」(P.45)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1** ■流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき
止水栓カバーを取りはずし、止水栓または元栓を閉める(P.4)
■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める(P.55手順①)
 - 2** 止水栓カバーを取り付ける
 - 3**  を押してタンクの水を抜く※1
 - 4** ノズルきれい  押す
・給水管の圧抜き
 - 5** 電源プラグを抜く
 - 6** 配管の水を抜く(P.55手順④⑤)
- お願い**
・止水栓は開けたままにしておいてください。
- 凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)
- 再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(下記)

再通水のしかた

- 1** 止水栓カバーを取りはずし、止水栓または元栓を開ける(P.13) または、水抜栓を操作して、給水する
・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
- 2** 止水栓カバーを取り付ける
- 3** 電源プラグを抜いているときは
電源プラグをコンセントに差し込む
・「運転」ランプが点灯する
- 4** ①ノズルから水を出す
(1)手または腕で着座センサー部(詳細はP.8を参照)に触れたまま、(2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
・水は紙コップなどで受けてください。
(3)手または腕を着座センサー部からはずす
- 5**  押す※1
・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。
(タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。)
給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。)
■残水が凍結して水が出ないとき
・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める



故障かな?と思ったら

まず、P.57~63の処置方法をお試しください。
それでも直らないときは、お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

次の場合は電源プラグを抜いて、TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ連絡してください。

- 運転、便座、節電ランプが点滅している
- 便座ランプが点滅している

●電子音が止まらない

水漏れしているとき

止水栓を閉め電源プラグを抜いて、TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ連絡してください。

⚠️注意

❗ 水漏れが起きたら、止水栓を閉める

ウォシュレット本体が動かないとき

運転ランプが点灯していますか?

- 着座センサー部に肌が触れるように座っていますか?
→着座センサー部に肌が触れると、着座センサーが検知します。(P.8)
- 便座・便ふたカバーを使っていますか?
→カバーを取りはずす

運転ランプが「消灯」しているとき


- 電源プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか?
→「入」ボタンを押す(ランプ消灯)
- 「運転入/切」の設定が「切」になっていませんか?
→リモコンで「入」に設定してください。(P.13 手順2.3)
- 配電盤のブレーカーが入っていますか?
→停電したり、ブレーカーが「切」になっていないか確認する

「切表示」ランプ
入

運転ランプが「点滅」しているとき

- 「凍結防止」設定が「入」になっています。(P.38、55)

リモコンで動きますか?

- リモコンの「」が点滅していませんか?
→乾電池を交換する(P.12、52)
- リモコン信号送信部やリモコン信号受信部がふさがれていませんか?
→障害物やゴミ・水滴などを取り除く(P.11、18)

リモコンは乾電池で動いています

必要なとき

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。